

農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

タイトル 米作り体験を通じた地域の一体的な取組み

J A 名 太田市 (群馬県)

1 動機 (経緯)	当組合管内の藪塚地区は、ハウレンソウ、紅小玉スイカなどの畑作物が盛んな地域です。水田は比較的少ない地域ですが、地元農家の協力を得て、J A・行政が連携し地元の小学生小学校や保育園・幼稚園の児童を対象に米作り体験を行っています。 米作り体験を通して普段食べているご飯がどのように作られているのかを知ってもらい、自分で作ったお米食べたときの喜びを感じてほしいとの思いからこの取組みを実施しています。
2 概要	◎『米作り体験』の概要 ■参加者 地元小学校の子供たち 約 300 名 (田植えは保育園・幼稚園児童も参加) 地元農業者と J A 職員が中心となって児童に米作りを教えます。 ■年間の取組み 6 月 田植え：水田に入り手で水田へ田植えを行います。 10 月 稲刈り：鎌をもって子供たちが実際に収穫します。 ～12 月 収穫後：収穫した米を給食等で食べます。また、一人暮らしや福祉施設に暮らすお年寄りへ、米袋に子供からのメッセージを書いたお米を配布しています。
3 成果 (効果)	○子供たちが米作り大切さを体験し、農業への理解を深まりました。 ○お年寄りと子供たちの交流を通じて地域の活性化に貢献しました。
4 今後の 予定 (課題)	今後も、地域の伝統行事として次世代を担う児童に対し、農業生産の大切さや「食」を通じた自然との共生など食農教育に支援していきます。

【田植え風景】

【稲刈り風景】

